

知的障害特別支援学級 算数科

単元名：とけいであそぼう

指導者望月 由佳
 介助員川口 俊秀

児童の願い

学習して分かった事を、学校生活の時刻にあてはめ、日程表を作りたい。



ゴール

肢体不自由特別支援学級2組のMちゃんに「Mちゃんオリジナルの日程表」を作成し、Mちゃんプレゼントする。

本単元で付けたい力

○A児（第5学年）

- ・日常生活の中で、時刻に関心をもつことができる。
- ・時計で「何時」と読める。

【特別支援学習指導要領 算数3段階（4）】

○B児（第4学年）

- ・日常生活の中で、時刻に関心をもつことができる。
- ・時計で「何時・何時半」と読める。

【特別支援学習指導要領 算数3段階（4）】

○C児（第2学年）

- ・時間について理解できるようにすることができる。
- ・秒について知ることができる。
- ・日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる。

【学習指導要領 算数第1学年B(3)】

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

		A	B
【主体性】	A児 5年	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読み、日常生活で、時刻と行動を対応している。	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読もうとしている。
	B児 4年	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読み、日常生活で、時刻と行動を対応している。	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読もうとしている。
	C児 2年	・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置で時刻で決まること事を知り、時刻を読みとり、日常生活で時刻と行動を対応している。	・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置で時刻で決まること事を知り、時刻を読みとろうとしている。
【思考力】	A児 5年	・時計の長針と短針の関係に着目して、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計の長針と短針の関係に着目して、時刻を正確に読むことができる。
	B児 4年	・時計の長針と短針の関係に着目して、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計の長針と短針の関係に着目して、時刻を正確に読むことができる。
	C児 2年	・時計を見て、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。
【自己理解】	A児 5年	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。

	B児 4年	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。
	C児 2年	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。

「課題発見・解決学習」の過程（全11時間）

学習内容	育成したい 資質・能力
<p>課題の設定（1）</p> <p>○学習の見通しをもつ。 ・ゴールを知る（肢体不自由特別支援学級2組のMちゃんに「Mちゃんオリジナルの日程表」を作成し、Mちゃんにプレゼントする。というゴールを知り、時計に興味・関心をもつ。）</p>	主体性
<p>情報の収集（6）</p> <p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて位置の確認をする。 (A児B児C児) ・日常の時間に合わせ、時計カードや絵を合せたりする。</p>	思考力
<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考えることができる。 ・何時の時刻を、時計から読んだり、模型時計で表したりする。 (A児B児C児)</p>	思考力
<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考えることができる。 ・何時、何時半の時刻を、時計から読んだり、模型時計で表したりすることができる。 (A児B児C児)</p>	思考力
<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考えることができる。 ・何時、何時半の時刻を、時計から読んだり、模型時計で表したりすることができる。 (A児・B児) ・1分読みで時刻を読んだり、模型時計で表したりすることができる。(C児)</p>	思考力
<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考えることができる。 ・何時、何時半の時刻を、時計から読んだり、模型時計で表したりすることができる。 (A児・B児) ・5分読みで時刻を読んだり、模型時計で表したりすることができる。(C児)</p>	思考力
<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考えることができる。 ・時計クイズをする。 ・「何時」「何時半」を正しく読むことができる。 ・アナログ時計を見て、表す時刻を選ぶことができる。(A児・B児) ・5分単位の数字の目盛りに着目しながら、時計1分単位でよむことができる。 ・アナログ時計を見て、時刻を言うことができる。(C児) 【本時】</p>	思考力
<p>まとめ・創造・表現（3）</p> <p>○Mちゃんにオリジナル日程表を作ろう。 ・絵と時計のシールを使い、Mちゃんオリジナルの日程表を作る。</p>	思考力
<p>○Mちゃんにオリジナル日程表をわたそう。 ・Mちゃんに作成した日程表を紹介する。</p>	思考力

振り返り（1）

学びのモニタリング

○Mちゃんの日程表の完成をふりかえる。

- ・時計の理解ができ、学んだ事を使って友達の役に立つことができた。

自己理解